

当院で「閉鎖孔ヘルニア」に対して治療を行った患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究へのご協力のお願ー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、日々の一般診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。そのため、当該患者さんに受診や検査など新たな身体的もしくは経済的負担が発生することはありません。

この研究に関するお問い合わせがありましたら、後述の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 高齢者における閉鎖孔ヘルニア嵌頓の治療の検討

【研究機関】 新潟県立新発田病院 外科

【研究責任者】 外科 大橋拓

【研究の目的】 高齢者では、年齢を重ねるほど臓器の機能低下も進みフレイルを有する割合も増加するため、高い合併症リスクとともに生活機能にも配慮した治療方針を考える必要がある。閉鎖孔ヘルニアは比較的稀な腹壁ヘルニアであり、高齢者の腸管嵌頓で発症することが多く予後不良とも言われる疾患である一方で、近年では非観血的嵌頓整復法が広まり手術を行わず軽快する例も少なくない。高齢者の閉鎖孔ヘルニア診療を後方視的に解析し、同疾患へのより適切な治療を検討する。

【研究の方法】 ●対象:2017年度以降に当院で「閉鎖孔ヘルニア」に対する治療を行った患者さん
●利用するカルテ情報:年齢、性別、診療録における臨床経過、治療内容、検査結果等

【個人情報の取り扱い】

上記の利用するカルテ情報等から、氏名、住所などの患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に、情報利用をご許可いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

新潟県立新発田病院 外科 担当医師 大橋拓

電話 0254-22-3121 FAX 0254-26-3874